



杉の子

令和6年2月

見附市杉澤町3561番地

TEL 0258-62-0314

教育目標「学びを高める子ども」

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/mdaini/>



令和5年度学校評価と次年度の取組について（お知らせ）

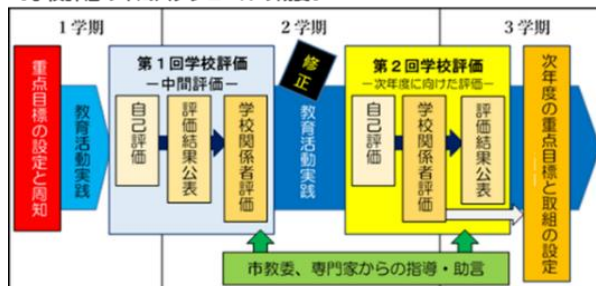
今年度、「自分のよさを見出し、よりよい学校生活をつくりだす子どもの育成 ～表現力の高まりを目指して～」を重点目標とし、「楽しい学校・美しい学校・鍛え合う学校」を目指し、教育活動を進めております。12月の各種アンケート結果等をもとに、今年度2回目の学校評価を実施しました。その結果と次年度の取組の概要をお知らせいたします。

学校評価について

学校評価は、児童がよりよい学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指すために行います。学校評価は、年間の教育活動について、

- ①児童・保護者を対象に行うアンケートを資料に、学校の教職員による自己評価
- ②自己評価の結果について保護者、地域住民の代表者による学校関係者評価
- ③自己評価・学校関係者評価結果を資料に学校運営全般について、専門的・客観的立場から評価する第三者評価

【学校評価の年間スケジュールの概要】



の3つの形態で構成されます。当校における②学校関係者評価は、学校運営協議会において行っております。今回お示しするのは、①学校の教職員による年度途中の自己評価の結果です。

学校評価－2学期の教育活動と児童の様子

今年度も、保護者、地域の皆様のおかげで、子どもたちは元気に登校し、学習や運動、遊びに、学校や学級の仕事に取り組むことができました。

2学期を終えての子どもたちの成長の姿（概要）は次のとおりです。



- 知育(確かな学力)、徳育(豊かな心)、体育(健やかな心身)ともに、できることが増えて成長を感じている子どもが多くいます。また、「自分が住んでいる地域や見附が好き」、「人の役に立つ人間になりたい」が共に肯定的評価100%で、見附市の教育理念「ふるさと見附を愛する子ども」「世に役立つことを喜びとする子ども」の姿を具現できています。
- 「学級や学校で協力したことがある」(3～6年)が肯定的評価100%で、他の人と力を合わせて何かをやり遂げることの大切さに気付いている子どもが多いです。「土日、休日に計画通りに宿題や家庭学習をしている」「好き嫌いせず給食を食べている」「体育の学習が好き」についても肯定的評価100%で普段の取組の成果が現れています。

「知育」「徳育」「体育」については、次頁からのとおりです。

1 知育(確かな学力)－基礎基本を身に付け、深く考える子どもの育成－

【成果目標】

- ① 月例テスト 90 点以上
- ② 家庭学習時間 10 分×学年の数以上
- ③ 学校以外で週4日以上読書
- ④ 適切な学習指導がなされている
(保護者)
- ⑤ 前よりも進んで考える
- ⑥ 学習したことをいろいろな場面で使う



【全校での取組】

- ◎ 基礎基本の定着を図る取組
 - 家庭学習の活性化
 - 「杉の子家庭学習ナビ」の活用
 - 「ナビ・タブレット版」の活用
 - 家庭学習プランニングの実施
 - 基礎基本定着の確認と徹底
 - 漢字・計算タイムの内容・方法の工夫・改善
- ◎ 主体的な学びをつくる取組
 - 授業改善
 - 考えをもつ場面と交流する場面での手立ての工夫
 - 学び方の習得
 - 「杉の子できる・わかるナビ」を活用した指導の実施

【成果目標に対する評価】

※肯定的回答が 80%以上はA、70%以上 80%未満はB

成 果 目 標	評 価	
	後期	
① 月例テスト 90 点以上	B	家庭学習をほぼ毎日している子が84%、週4・5日が9%です。市内小学校で1位です。学校で家庭学習プランニングをすることで、家庭学習の習慣化が図られています。しかし、学習時間は個々により差があり十分な子ばかりではないのが課題です。 学校以外で週4日以上読書している子が59%で前期より4%下がりましたが、市内小学校で1位でした。市の平均は36%でした。読書好きが多いことが分かります。 ④の肯定評価が100%を維持しています。きめ細やかな指導が評価を得ていると考えます。
② 家庭学習 時間 10 分×学習学年の数以上	C	
③ 学校以外で週4日以上読書	C	
④ 適切な学習指導がなされている (保護者評価)	A	
⑤ 前よりも進んで考える	A	
⑥ 学習したことをいろいろな場面で使う	A	

【次年度に向けて】

- 家庭学習カードと「杉の子 家庭学習ナビ」を活用した家庭学習プランニングを今後も行い、自ら学ぶ姿勢や家庭での学習習慣を確実に育むと共に、学年×10分をより意識させていきます。
- 「杉の子できる・わかるナビ」を使い、基本的な学習習慣の定着を更に図ります。
- 昨年度作成した「杉の子できる・わかるナビータブレット版」を使用し、児童が、タブレットを用いて、調べる・まとめる・発表する等、いろいろな場面で主体的に学んでいけるよう、タブレット端末の適切かつ有効な活用を目指します。
- 学校では、よく読書をしている姿を見ます。家でも読書することを更に勧めていきます。

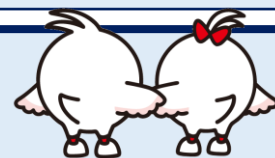
2 徳育(豊かな心)－自他を大切にのびのびと生活する子どもの育成－

【成果目標】

- ① 自分によいところがある
- ② 学級や学校で協力したことがある
- ③ 難しいことでも挑戦する
- ④ 適切な人間関係づくりをしている
(保護者)
- ⑤ ふるさとが好き
- ⑥ 人の役に立つ人間になりたい
- ⑦ 地域とのかかわりを大切にしている
(保護者)

【全校での取組】

- ◎ 社会性を育む取組
- 体験活動とリンクさせた指導
 - 豊かな体験活動の創出
 - * 総合的な学習の時間指導計画「杉の子プラン」の活用
 - * 地域と協働する活動の実施
 - * 異年齢集団活動の充実
 - 体験活動事前・事後学習の充実
 - キャリア・パスポートの活用とキャリア相談の実施
 - 道徳科授業の充実-体験活動と関連付けた指導の実施
 - 子どものアイディアを生かす特別活動の実施



【成果目標に対する評価】

※肯定的回答が 80%以上はA、70%以上 80%未満はB

成 果 目 標	評 価	
	後期	
① 自分によいところがある (3年生以上)	B	肯定的評価は①が 76%、③④は 92%超、②⑤⑥⑦は 100%でした。全校児童が「仲が良い」ことが、いろいろな場面で+αとなっています。また、保護者、地域の皆様がたいへん協力的であることも子どもたちの成長に良い影響を与えています。 終会や行事等の振り返りで、友達のよいところを伝え合う活動を行ったり、職員が積極的に児童の頑張りやよさを伝えたりしています。しかし、自己肯定感が低いことが課題です。
② 学級や学校で協力してうれしかったことがある (3年生以上)	A	
③ 難しいことでも挑戦する (3年生以上)	A	
④ 適切な人間関係づくりをしている (保護者評価)	A	
⑤ ふるさとが好き	A	
⑥ 人の役に立つ人間になりたい	A	
⑦ 地域とのかかわりを大切にしている (保護者評価)	A	

【次年度に向けて】

- 今後も、当校のよさ・強みである、少人数と家庭的なあたたかいかわり合いを大切に、互いを認め合い、支え合って生活し、よりよくなろうとする心をさらに育てていきます。
- 総合的な学習の時間「杉の子プラン」の実践を地域と協働しながら行い、他と交流しながら考えを深める場面を大切にした授業づくりを更に進めます。
- 異年齢集団での活動で様々な役割を経験することで、協働性、共生意識、自己有用感を高めていきます。
- 「めあて立て」「振り返り (自己評価)」をしっかり行い、今と未来の自分について考え、実践することで、自己決定力と目標に向かって粘り強く取り組む力を育みます。
- 「キャリア・パスポート」の活用や友達のよさを伝え合う活動等を通して、自分のがんばりや成長、よさを認識、自覚させ、自己肯定感を高めていきます。

3 体育(健やかな心身)－自分の健康・元気を自分でつくる子どもの育成－

【成果目標】

- ① メディア使用時間 1 日 2 時間以下
- ② 休日の過ごし方を充実させる
- ③ 好き嫌いしないで食べる
- ④ 睡眠を 8 時間以上している
- ⑤ 体育の授業が好き



【全校での取組】

- ◎ 望ましい生活習慣を育む取組
 - 生活習慣強調期間の設定
 - 睡眠を軸とした指導の充実
 - *ミニ保健指導と専門家を招いて行う指導の実施
 - *生活ふりかえりカードの活用
 - *PTAと連携した取組
 - 体力向上の取組
 - 体育授業、業間運動(杉の子タイム)の工夫
 - 体育授業中の活動の工夫
 - 楽しみながら体力の向上を目指す、業間運動の工夫

【成果目標に対する評価】

※肯定的回答が 80%以上はA、70%以上 80%未満はB

成 果 目 標	評 価	
	後期	
① メディア使用時間 1 日 2 時間以下	B	睡眠を 8 時間以上している子は前期と同じ 84%でした。養護教諭の保健指導、外部講師による講話等により、睡眠の大切さを体の機能と結びつけて学ぶことができました。また、健康・栽培委員会の児童朝会での 2 回の発表は、児童からの発信ということで意識の向上に結びつきました。 体育の授業が好きな子は 100%です。めあてと見通しをもって活動すること、楽しく活動できる場を工夫したことが、体育の楽しさにつながりました。
ア テレビ・ビデオ・DVD 視聴 2 時間以下	A	
イ ゲームをする時間 2 時間以下	B	
ウ SNS 使用、Web 動画サイト視聴等 2 時間以下	B	
② 休日の過ごし方を充実させる	A	
ア 計画的な家庭学習	A	
イ 規則正しい生活(早寝・早起き、食事)	C	
ウ メディア使用の約束を守る	B	
③ 好き嫌いしないで食べる	A	
④ 睡眠を 8 時間以上している	A	
⑤ 体育の授業が好き	A	

※【参考】成果目標①に関連するメディア使用に係るアンケート結果(肯定的回答の結果)

対象	質 問	後期	対象	質 問	後期
児童	TV・ビデオ視聴時間 1 日 2 時間以下	81% (市 72%)	保護者	ゲーム、スマートフォン使用についてルール、約束を決めている	84% (市 81%)
児童	ゲームで遊ぶ時間 1 日 2 時間以下	78% (市 73%)	保護者	(お子さんは)ルールや約束を守って、ゲーム、スマートフォンを使用している	78% (市 77%)
児童	携帯電話・スマートフォン使用時間 1 日 2 時間以下	78% (市 78%)			

【次年度に向けて】

- 「自分の健康・元気を自分でつくる」という姿勢を向上させるための取組を継続します。
- 体育の授業では、めあてと見通しをしっかりとらせ、業間運動(杉の子タイム)では、多様な運動を取り入れ、楽しみながら体を動かすことで体力の向上を図っていきます。
 - 今後も、睡眠を軸とした望ましい生活習慣を育むよう、ミニ保健指導と専門家を招いて行う指導の実施、生活ふりかえりカードの活用、個別の保健指導に取り組む等、家庭と協力して取組を進めていきます。